



⑤ 校内研修

説明する項目を厳選した情報機器活用ミニ研修

学年	教員
教科・領域	職員研修
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用パソコン ・SKYMENU-Cloud ・Microsoft365

ICT活用のポイント

- ・「パソコンを面倒なく使える」「パソコンを授業の中で活かせる」を感じてもらえるよう活用頻度の高い操作やアプリを厳選し短時間で行う。
- ・使い方の説明から教員自身の活用方法への気づきにつなげられるよう授業や校務での活用実例を交える。
- ・関心がある教員に優先的に推進教員が技術支援をすることで活用の裾野を広げていく。

○短時間で「使える」実感のある研修を

「希望制研修」

研修の参加を希望制にして負担感を減らした上で、職員室に設置しているモニターの前を研修場所としたことで、参加しやすい環境を作ることができた。途中参加や、短時間参加の教員も集まり、広く伝えられた。

「ショートカットキー」

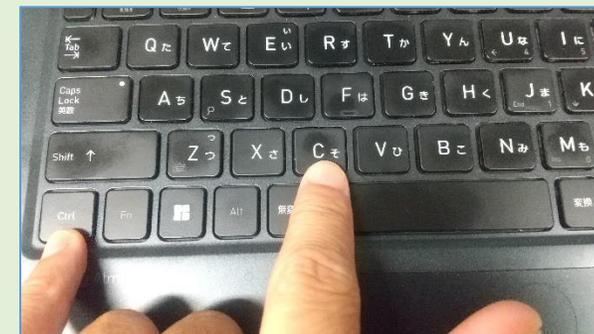
パソコンの操作で意外と知らない使い勝手の良い「ショートカットキー」についての研修を行った。

初めて聞く教員にとっては目からうろこだったようで、ミニ研修会後に隣の席の教員にすぐに共有する姿が見られた。

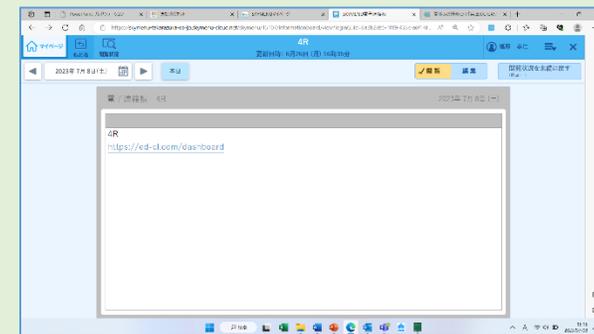
「SKYMENU-Cloud活用」

SKYMENU-Cloudの「連絡掲示板」を活用して、児童にインターネットのリンクを公開する方法を紹介した。

これによりまだ自分で文字を打てない学年の児童にインターネットを使った調べ学習をさせることができるなど、研修を受けてくれた教員からアイデアが出てきた。



ショートカットキーを使う様子



SKYMENU「連絡掲示板」



⑤ 校内研修

トラブルやアップデートへの対応

学年	全教員
教科・領域	職員研修
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用パソコン ・児童用パソコン ・Microsoft Teams

ICT活用のポイント

- ・アップデート待ちや、トラブル発生中の実機を用意することで実際に触りながら対応の説明をすることができる。
- ・操作風景の撮影や画面録画などで映像を残し、Teams等で共有しておくことで、振り返りやすくなる。

○児童が困らない迅速に対応する体制づくりの構築

- ・ソフトウェアのアップデートがあると、必ず対応しなければならない。担当だけでは対応しきれないので、多くの教員の力が必要になる。
- ・システムの対応方法のための構内での研修は、参加を学年1人と悉皆として参加させることで、内容を確実に広められるとともに、担当不在にもトラブルに対応することができる。
- ・インストールの手順、事後の対応を担当から伝えたり、その場で気づいたことを出し合えたりできたことで、よりスムーズに対応することができる。



Teamsのアップデート



端末を利用した研修風景



⑤ 校内研修

令和5年度ICT利活用推進事業
宝塚市立仁川小学校

人権教育ミニ研修

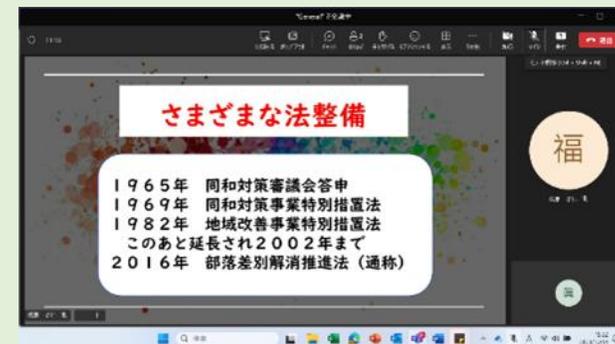
学年	全教員
教科・領域	職員研修
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用パソコン ・Microsoft Teams ・Microsoft Office365

ICT活用のポイント

- ・一斉に集まっている場でも、パワーポイントを利用するためにTeamsで会議を開くことが有効である。
- ・事前にオンライン会議のマイク及びカメラをオフにすることを伝えるとともに、会議中に開催者が中心にマイクを強制でオフにすることで会議はスムーズに進行することができる。
- ・画面共有が必要な場面では全般的に有効。

○短時間で実りのある研修を実施

- ・「職員会議の中で短時間での研修」というコンセプトのもと、短い時間でも職員に伝わりやすいよう、ICTの活用がなされている。特に人権教育のように多岐にわたる内容を研修するためには短時間で効果的に研修を行うことが有効である。
- ・本校の職員会議では、時間短縮・省資源を目的に、PDFによるペーパーレス化に取り組んでいる。それだけで伝えられるものはPDFだけにすることも省力化につながる。
- ・PDFファイルだけでは伝えきれない研修内容について、会議中にTeamsでの会議を立ち上げ、パワーポイントを画面共有することで、短い時間でわかりやすく職員に伝えることができた。



Teamsによる画面共有のようす



端末を利用した研修風景



文部科学省GIGA StuDX オンライン研修

学年	教職員
教科・領域	その他
ICT機器や アプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・端末 ・集音マイクYAMAHA YVC-1000と拡張用MIC YVC-MIC1000EX 2台 ・SONY HDR-CX680 ・SKnet HDMI-USB VideocaptureMonsterX 2 ・Googlemeet ・Googleスプレッドシート

ICT活用のポイント

- ・オンライン会議で課題となる音声、特に複数人による音声のやり取りをクリアにするため、専用機器を導入することで、双方向の会話をスムーズに行うことができた。
- ・会場全体を広角カメラで撮影できるようにビデオカメラをWebカメラとして利用し、接続のために、専用のHDMI-USB変換キャプチャを導入した。

○【文部科学省】GIGA StuDX推進チームによるオンライン研修会の実施。

- ・文部科学省が推進する「GIGAスクール構想で目指す学び」の講義を受けながら、ICT活用に関する自分の課題や、勤務校の課題について考察する。
- ・研修では、参加者が「明日から取り組みたいこと」を具体的にクラウド上のスライドに入力し、参加者全員と内容を共有する。
- ・集音マイクやWebカメラを活用したことにより、参加者はオンラインでも聞きやすく、充実した研修となった。

→令和の時代に対応した授業や校務の推進に、ICT活用を積極的に取り入れることの重要性和、責務を認識できた。



オンライン研修風景



集音マイクシステム



教職員のICTスキル向上を狙った「ICT通信」の発行

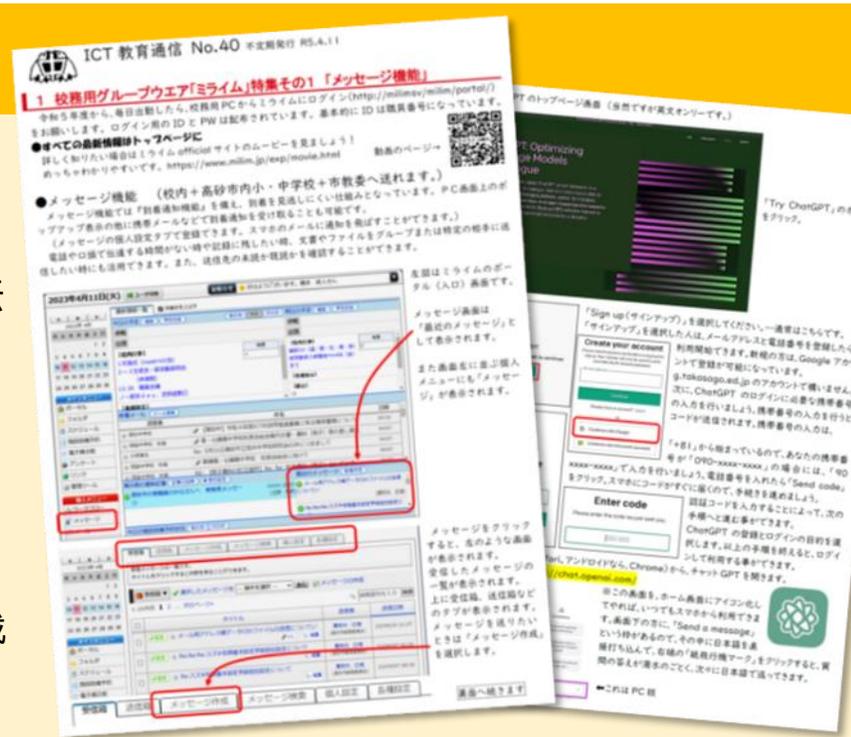
学年	教職員
教科・領域	その他
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用PC (Windows) ・LINEWORKS

ICT活用のポイント

- ・様々なアプリや機器が次々に職員室に導入される状況下で、教職員は、ICTを活用した授業に頭を悩ませたり、働き方改革を迫られている。
- ・学校長自ら、ICT活用の初心者でもわかるような丁寧なマニュアルや活用ポイント、留意点を記した「ICT通信」を発行することで、教職員の士気を高め、足並みを揃えることができ、ICT活用スキルの水平展開が可能となった。

○学校長自らが、アプリや機器の活用方法をはじめ、利用する際の注意点やポイントを利用者目線で丁寧に記載。

- ・職員室で交わされるICT関係の会話から、何に困っているのか、どんな情報が必要なのかを汲み取り、少しでも教職員にとって有益な情報を記載している。
- ・単なるマニュアルにとどまらず、生徒の情報活用能力のどの分野に関係しているのか、指導の視点も含めて解説している。
- ・教員間用チャットアプリ (LINEWORKS) で配信し、いつでも手元で読めるように工夫している。



ICT通信から

- R5 ICT教育通信No46 (ミライムショートカットスタートアップ).pdf
- R5 ICT教育通信No45 (Googleカレンダーで個別懇談スケジュール枠を作って)
- R5 ICT教育通信No44 (チャットGPT).pdf
- R5 ICT教育通信No43 (pdf_asと縮小革命).pdf
- R5 ICT教育通信No42 (L-geteとブリタニカ百科事典).pdf
- R5 ICT教育通信No41 (スクリーン配信方法).pdf
- R5 ICT教育通信No40 (「ミライム」特集その1 「メッセージ機能」).pdf
- R5 ICT教育通信No39 (R5荒井中ICT先進活用指定校).pdf

バックナンバーは共有フォルダに保存



⑤ 校内研修

令和5年度ICT利活用推進事業
たつの市立龍野東中学校

月一回のICT校内研究授業と公開講座

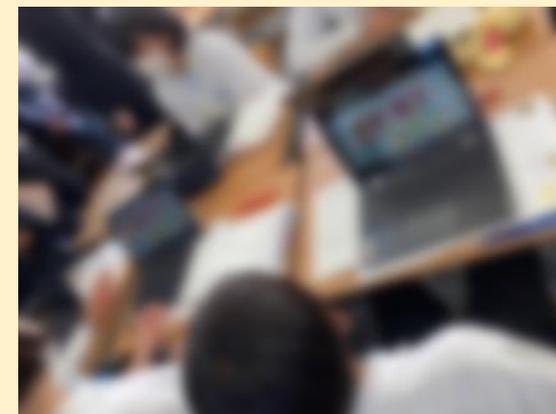
学年	教員
教科・領域	職員研修
ICT機器やアプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google クラスルーム ・ Google スライド

ICT活用のポイント

- ・ 教員の負担が大きくなるため、毎年行っている校内研究授業と同じ実施内容とし、指導案の略案のみを作成する。
- ・ 講座は教員がローテーションで行い、準備を含め自身のICT活用指導力向上の機会とする。
- ・ 近隣校の教員にも告知をし、参加してもらうことで、ICTに対する意識の学校間の格差を縮め、異動先でも負担なく教員が業務に向かうことができる。

〇月に1回、ICTに重点を置いた研究授業を行い、その後ICTに関する講座を行う。

- ・ 研究授業は、全教科1回行うこととしている。
- ・ 授業では、普段のICT活用以外に、新たな活用方法の挑戦する機会とする。
- ・ 教科指導、校務分掌などそれぞれの分野で担当教員がICTを活用している。その内容を専門の講師として、担当教員が研修を行う。
→ 聴衆の学びだけでなく、担当教員のアウトプットの間とする。
- ・ 近隣校からも参加を募ることで、他校のICT活用について意見交流ができるので、自校のICT活用を推進するヒントなど、より深く学べる場となる。



公開授業の様子

	公開授業	公開講座
1	英語	龍野東中学校のICTの現状
2	数学	ICTを用いた学級経営
3	技術・体育	Qubena (AIDリルについて)
4	社会	春日井市学校見学の報告
5	理科	ICTを用いた授業
6	家庭科・国語	ICTの小中連携
7	美術・音楽	ICTを用いたテストの進め方

研究授業・公開講座の予定